

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

一個に二合、三冊に四正」と
日本語はものほどを数える
時に使つ助教詞（トコロ）がおよそ
五百もあるそうだ。その豊か
さが使いこなしの難しさにも
なるわけだが、中でも厄介な
のは「本」という。
どんなものを「本」と数えるか。
まず思ひつくのは「細長いもの」
たが、輪ゴムやタイなど「輪」にな
ていうものの「も」本で数えれば映
画や記事、本屋打や宝くじも
本である。「教え方の辞典」の著者
で言語学者の飯田朝子の
繪本（絵本）もでつくる一本の辞書」
によれば、本で数えるものは何と
三看五十九種類以上、意外なのは一般
には「合」で数える机など、家具
屋さんは本で数えてるところだ。
セル机（セラ）が本のから、その誤写は職人つまり
でさうして家具を店に拿へ、お客様にと
どけぬその本の流れがすべて「本」といって



2016/03/10

けん玉の指導もけん玉を
一本二本…と叫ぶことも
一年間を掛けて技をおぼえ
みんなが身体におぼえます。
時間が必要なのです。
一本のけん玉が一人一人の子供
達の心をかけてゆく不思議
な道具具。
たかがけん玉されどけん玉
づる人と高う人と使ふ人と
それぞれの思いがつながって
の一本を教えてくれるよう
である。
これがもうづくりの基本の一本で
ありけん玉を製造する人達
も子供達のことを思ってつく
てくれています。
けん玉を大切にしましょう。



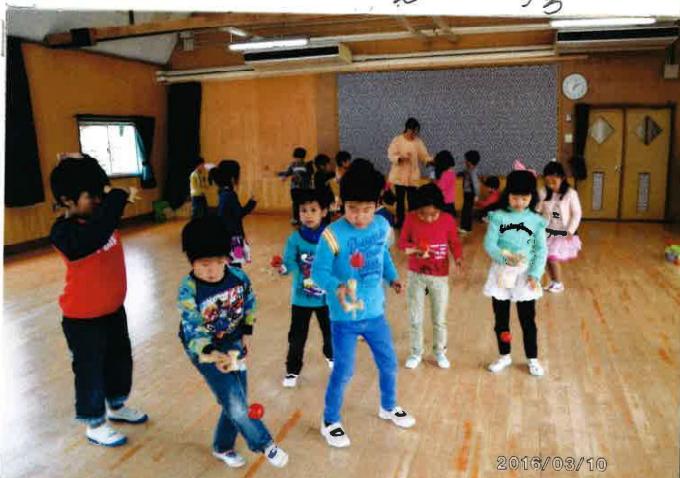
2016/03/10

上腕三頭筋
万歳運動 大胸筋 広背筋 三角筋
柏手運動 山登り運動 羽ばたき運動
心身体樂



2016/03/13

書ってあります。



2016/03/10